

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】平成 18 年 11 月 16 日 (2006.11.16)

【公表番号】特表 2006-503191 (P2006-503191A)

【公表日】平成 18 年 1 月 26 日 (2006.1.26)

【年通号数】公開・登録公報 2006-004

【出願番号】特願 2004-544122 (P2004-544122)

【国際特許分類】

D 0 6 P 1/673 (2006.01)

D 0 6 P 5/00 (2006.01)

【F I】

D 0 6 P 1/673

D 0 6 P 5/00 1 1 7 A

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 9 月 28 日 (2006.9.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

織物繊維材料を浸染または捺染する方法であって、

光沢顔料 A または B を使用し、

A (a) 実質的に透明な材料または金属反射性の材料からなるコア、および

A (b) ケイ素に対する酸素のモル比が、平均して 0.03 ~ 0.95 である、1 種以上の酸化ケイ素から実質的になる少なくとも 1 つのコーティング、または

B (a) ケイ素に対する酸素のモル比が、平均して 0.03 ~ 0.95 である、1 種以上の酸化ケイ素から実質的になるコア

を含む方法。

【請求項 2】

光沢顔料 A のコア A (a) が、雲母、 SiO_y (式中、y は、0.95 ~ 1.8 である)、 SiO_2 、または $\text{SiO}_2 / \text{TiO}_2$ の混合物からなる、請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

光沢顔料 A のコア A (a) が、Ag、Al、Au、Cu、Cr、Ge、Mo、Ni、Si、Ti、Zn、それらの合金、グラファイト、 Fe_2O_3 および MoS_2 から選択され、好ましくは Al である、請求項 1 記載の方法。

【請求項 4】

0 ~ 500 nm の厚さを有し、かつ 100 原子% のケイ素に基づいて、95 原子% を超える酸素に結合した 17 ~ 51 原子% のケイ素を含む層 B (b) が、光沢顔料 B のコア B (a) に適用されている、請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の方法。

【請求項 5】

織物繊維材料を捺染する、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項記載の方法。